



菅谷不動尊の山門（菅谷）

通称を菅谷不動尊と言っているのは、正式名を真言宗醍醐派、諸法山菅谷寺と言います。鎌倉幕府を立てた、あの源頼朝の叔父さんにあたる護念上人（源慈応）という方が建てたのだそうです。あるとき、落雷により伽藍（ご本尊を安置している建物）は焼けて消失しましたが、「みたらせの滝」にいたタニシが身を挺してご本尊をお守りして、無事であったと伝えられています。この「みたらせの滝」にはお不動さまを守ったと言われる「たにし」が沢山います。この滝に、たにしを奉納して祈願すると眼病に霊験があるとされています。